

藤原委員からの質問と回答

平成 27 年度場内整備工事の実施内容（中央沢設置工（揚水ポンプ設置）について）	
質問	そもそも池に水が貯まる程の雨水が期待できるものなのか。
回答	<p>平成 26 年度に県が表流水流出量を試算した結果では、現場内で発生する表流水流出量は約 24,000 m³/年である。（渇水期に貯留が必要な量は約 3,000 m³）</p> <p>※表流水流出量＝降水量－（蒸発散量＋地下浸透量）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・試算は H25 の各種データに基づく ・降水量は上郷、手倉森観測所の平均値を使用 ・表流水流出率（0.16）、蒸発散率（0.37）、地下浸透率（0.47）
質問	池に貯める水は現場内表流水になると思われるが、汚染された水になるのではないか。（処理施設で処理された水を使用すべきと考えるが）
回答	<p>現場は、平成 25 年 12 月に廃棄物及び汚染土壌の全量撤去が完了し、地山は土壌環境基準以下であることを確認している（協議会に報告済）。その後、跡地整形のため現場外から搬入した汚染のない土壌により約 50 センチの厚さで地山の上に客土を行っていることから、表流水（雨水）が汚染されることはない。</p> <p>なお、地下水については、1,4-ジメチルを含有している可能性があるため、地表面に湧出しないように、地中に埋設している暗渠管により浸出水処理施設に導水し、適切に処理している。</p> <p>浸出水処理施設で処理された水については、計画処理水質を充分下回っているものの、微量の 1,4-ジメチルを含有しているため、地下水浄化には当該物質を含まない表流水（雨水）を使用するものである。</p>
「環境再生計画」に基づく県の取組等（自然再生について）	
質問	平成 26 年度に植樹した木々の生育状況について情報提供していただきたい。
回答	<p>青森県では昨年度から現場跡地の森林整備に取り組んでおり、昨年度は県民植樹祭のほか、企業の社会貢献活動として行われている植樹活動である「企業の森づくり活動」により、現場跡地の森林整備エリア（53,900 m²）の約 4 割に植樹を行った。</p> <p>平成 26 年度に植樹した苗木の生育状況について、森林整備の整備・管理主体である八戸市森林組合に確認したところ、降雪等の影響により幹折れがわずかに見られるが新芽が出ており、枯死はほとんど認められず、良好に生育しているとのことである。</p>